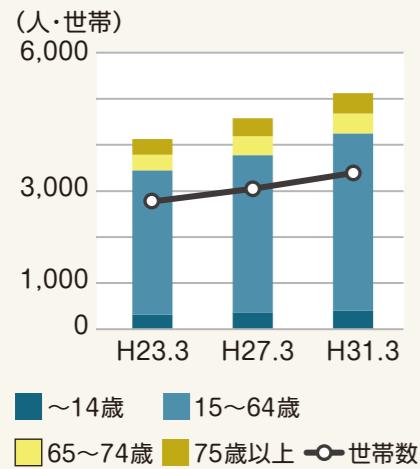


関内地区の統計データ

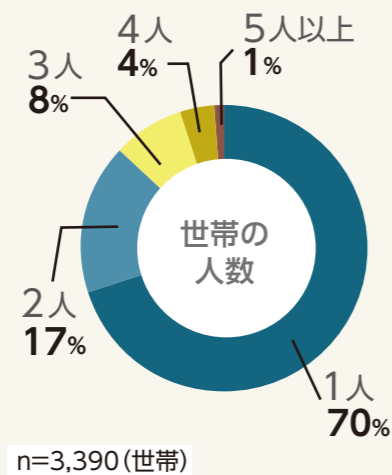
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	4,122	317	3,130	337	338	16.4	2,771	1.49
H27.3	4,575	361	3,413	410	391	17.5	3,043	1.50
H31.3	5,125	407	3,840	435	443	17.1	3,390	1.51

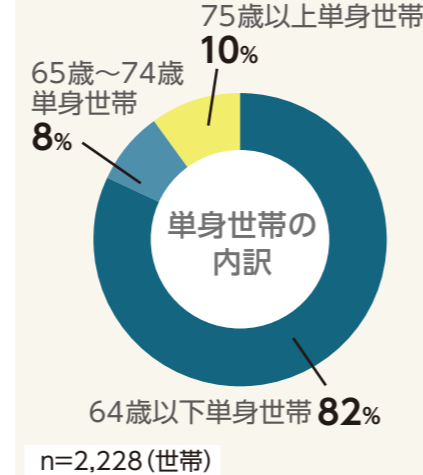
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	3,267	2,124	65.0	160	211	158
H31.3	3,390	2,228	65.7	174	220	156
R2.3	3,763	2,364	62.8	199	226	173

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数

(H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	153	3.1
1年未満	550	11.2
1年以上5年未満	968	19.8
10年以上20年未満	884	18.0
20年以上	192	3.9
居住期間「不詳」	1,501	30.6

地区内の外国人数

(中区外国人数基礎調査より)

調査年	外国人数(人)	外国人比率(%)
H28.4	270	5.9
H31.4	339	6.6

データから見た関内地区

人口、世帯数とも年々増加しており、平成23年に比べ1.2倍となっています。勤労世代の人口割合が75%を占め、高齢者の割合は17.1%と区内では一番少ない地区です。

世帯構成をみると、7割が単身世帯で4人以上の世帯は5%に過ぎず、単身世帯の8割は勤労世代であり、その数は増加しています。住民の居住年数では出生時から住んでいる割合は3%と少なく、他地域から流入してきた住民がほとんどであることがわかります。

住民の多くはマンション、集合住宅に居住しており、今後も新たな集合住宅の建設により、人口、世帯数とも増加傾向が続くと思われます。

地区内の外国人数が少なく、割合は高くはありませんが、増加傾向がみられます。



関内地区

5年後の目指す姿

「こんにちは」「コンニチハ」
笑顔が繋がるまち・関内



子ども防災ウォーク ▲

おしゃべりサロン ▲

関内地区はこんなまちです

横浜開港以来からの歴史のある街並みのある地域です。官公庁街や飲食店街、オフィスが多く、近年マンションが建築され、住民も増えてきています。山坂は少なく、昔ながらの建物も多く、観光スポットもたくさんある地区です。



相生町・太田町・尾上町・海岸通・北仲通・新港1丁目・新港2丁目・住吉町・常盤町・日本大通・弁天通・本町・真砂町・港町・南仲通・元浜町・横浜公園

これまでの計画(第3期)の振り返り

児童の保護者からの提案で、通学する子どもたちと親、地域の関係者が一緒に企画し、通学路で津波にあった際の避難場所を確認する「子ども防災ウォーク」が始まりました。津波の際の避難という住民の心配事が様々な人と共有され、新たな活動となりました。

「まちのクリーンアップ大作戦」として、関内地区の清掃活動を始めました。地域で活動していることが分かるようにお揃いのジャンパーで取り組みました。

「関内地区イベントカレンダー」を配布することで、関内地区で行われている様々な取組をお伝えし、人が集まるきっかけ作りが行われてきました。

第4期計画はこのようにつくりました

地区社協や民生委員、主任児童委員、保健活動推進員などで構成する「関内地区中なかいいネ!推進会議」で、2か月に1度、話し合いながら作りました。



まちのクリーンアップ大作戦



関内地区イベントカレンダー

nakanaka photo

第4期計画

目標	第4期の取組	取り組む理由	視点
高齢者、子どもと子どもの保護者、障害のある方、外国人など様々な人とのつながりを作る取組をしていきます。	<ul style="list-style-type: none"> 人が集まるきっかけ作りとなっている「関内地区イベントカレンダー」の取組を続けていきます。 年代を超えて知り合うことができる「おしゃべりサロン」の取組を続けていきます。また、何気ない悩みなどを気軽に話せる場が増えるように取り組みます。 その時々課題を取り入れながら、「子ども防災ウォーク」の取組を続けていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな住居・住人が増えている中で、人が集まり知り合うきっかけを作りたいという声がありました。 コロナ禍でも赤ちゃん訪問員や民生委員への訪問希望の声が多くあり、人とのつながりが欠かせないことが分かりました。 地域活動に関わり続けることが難しい方も、子どもの時期や子育てをしている時期の一時でも地域活動に関わり、地域を知ること、何かあった時に助けを求めやすくなり、孤立予防につながります。 	えん結び
企業、団体、学校や地域で活動している様々な人がつながって、交流する取組を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> もちつき大会は、小・中学生も企画・運営に参加しています。子どもから大人まで地域の人が集えるイベントとして続けていきます。 子どもから大人まで集まる場所となるよう、地域食堂に取り組みます。 地域で活動している人同士が、知り合う機会を作っていきます。 企業等と連携して「まちのクリーンアップ大作戦」を続けていきます。 夏休み子どもラジオ体操やバードゴルフは、体を動かしつつ多世代交流ができる健康づくりの取組として続けていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校関係者からも子どもたちが地域とつながれるイベントが大切であるとのご意見がありました。 住居以外に企業や商店も多い関内地区。様々な組織と交流しながら活動を広げていける可能性があります。 地域で活動している人同士のお互いの顔はまだ見えにくい現状があります。 	えん結び
若い人も高齢者もみんなが自分の健康について考え、時には一緒に健康づくりに取り組んでいきます。	<ul style="list-style-type: none"> 北仲第2公園ラジオ体操のような定期的な開催する健康づくりの取組を続けていきます。 脳と体の健康づくりの活動である「いきいきルンルン」を続けていきます。 保健活動推進員が中心となって毎月1回ノルディックウォークに取り組みます。 食を通して健康を考えると共に、人とのつながりができるような取組を始めます。 健康を目的としていない集まりでも健康ミニ講座を実施し、全ての世代の人が健康を考えるきっかけを作ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康については、若い人から高齢者まで考えてほしいことです。 一人暮らしの人の食生活が心配です。 ノルディックウォーク等、生活習慣として継続的に運動に取り組む人が増えてきたので、今後も運動の取組を継続していきたいです。 	えん結び 元気いっぱい



関内地区

5年後の目指す姿

「こんにちは」「コンニチハ」
笑顔が繋がるまち・関内



子ども防災ウォーク ▲



おしゃべりサロン ▲

関内地区はこんなまちです

横浜開港以来からの歴史のある街並みのある地域です。官公庁街や飲食店街、オフィスが多く、近年マンションが建築され、住民も増えてきています。山坂は少なく、昔ながらの建物も多く、観光スポットもたくさんある地区です。



相生町・太田町・尾上町・海岸通・北仲通・新港1丁目・新港2丁目・住吉町・常盤町・日本大通・弁天通・本町・真砂町・港町・南仲通・元浜町・横浜公園

これまでの計画(第3期)の振り返り

児童の保護者からの提案で、通学する子どもたちと親、地域の関係者が一緒に企画し、通学路で津波にあった際の避難場所を確認する「子ども防災ウォーク」が始まりました。津波の際の避難という住民の心配事が様々な人と共有され、新たな活動となりました。

「まちのクリーンアップ大作戦」として、関内地区の清掃活動を始めました。地域で活動していることが分かるようにお揃いのジャンパーで取り組みました。

「関内地区イベントカレンダー」を配布することで、関内地区で行われている様々な取組をお伝えし、人が集まるきっかけ作りが行われてきました。

第4期計画

目標	第4期の取組
<p>高齢者、子どもと子どもの保護者、障害のある方、外国人など様々な人とのつながりを作る取組をしていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 人が集まるきっかけ作りとなっている「関内地区イベントカレンダー」の取組を続けていきます。 ● 年代を超えて知り合うことができる「おしゃべりサロン」の取組を続けていきます。また、何気ない悩みなどを気軽に話せる場が増えるように取り組みます。 ● その時々課題を取り入れながら、「子ども防災ウォーク」の取組を続けていきます。
<p>企業、団体、学校や地域で活動している様々な人がつながって、交流する取組を行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● もちつき大会は、小・中学生も企画・運営に参加しています。子どもから大人まで地域の人が集えるイベントとして続けていきます。 ● 子どもから大人まで集まる場所となるよう、地域食堂に取り組みます。 ● 地域で活動している人同士が、知り合う機会を作っていきます。 ● 企業等と連携して「まちのクリーンアップ大作戦」を続けていきます。 ● 夏休み子どもラジオ体操やバーンゴルフは、体を動かしつつ多世代交流ができる健康づくりの取組として続けていきます。
<p>若い人も高齢者もみんなが自分の健康について考え、時には一緒に健康づくりに取り組んでいきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 北仲第2公園ラジオ体操のような定期的に開催する健康づくりの取組を続けていきます。 ● 脳と体の健康づくりの活動である「いきいきルンルン」を続けていきます。 ● 保健活動推進員が中心となって毎月1回ノルディックウォークに取り組みます。 ● 食を通して健康を考えると共に、人とのつながりができるような取組を始めます。 ● 健康を目的としていない集まりでも健康ミニ講座を実施し、全ての世代の人が健康を考えるきっかけを作ります。

第4期計画はこのようにつくりました

地区社協や民生委員、主任児童委員、保健活動推進員などで構成する「関内地区中なかいいネ!推進会議」で、2か月に1度、話し合いながら作りました。



まちのクリーンアップ大作戦



関内地区イベントカレンダー

nakanaka photo

取り組む理由

視点

- 新たな住居・住人が増えている中で、人が集まり知り合うきっかけを作りたいという声がありました。
- コロナ禍でも赤ちゃん訪問員や民生委員への訪問希望の声が多くあり、人と人のつながりが欠かせないことが分かりました。
- 地域活動に関わり続けることが難しい方も、子どもの時期や子育てをしている時期の一時でも地域活動に関わり、地域を知ること、何かあった時に助けを求めやすくなり、孤立予防につながります。

えん結び

- 学校関係者からも子どもたちが地域とつながれるイベントが大切であるとのご意見がありました。
- 住居以外に企業や商店も多い関内地区。様々な組織と交流しながら活動を広げていける可能性があります。
- 地域で活動している人同士のお互いの顔はまだまだ見えにくい現状があります。

えん結び

- 健康については、若い人から高齢者まで考えてほしいことです。
- 一人暮らしの人の食生活が心配です。
- ノルディックウォーク等、生活習慣として継続的に運動に取り組む人が増えてきたので、今後も運動の取組を継続していきたいです。

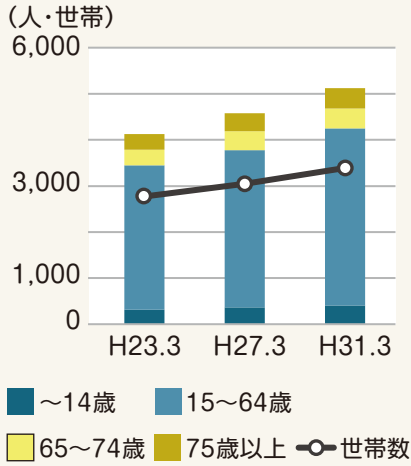
えん結び
元気いっぱい

関内地区の統計データ

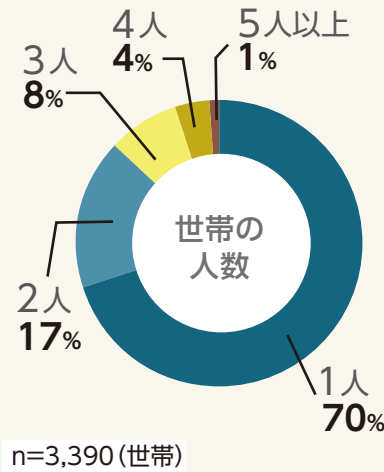
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	4,122	317	3,130	337	338	16.4	2,771	1.49
H27.3	4,575	361	3,413	410	391	17.5	3,043	1.50
H31.3	5,125	407	3,840	435	443	17.1	3,390	1.51

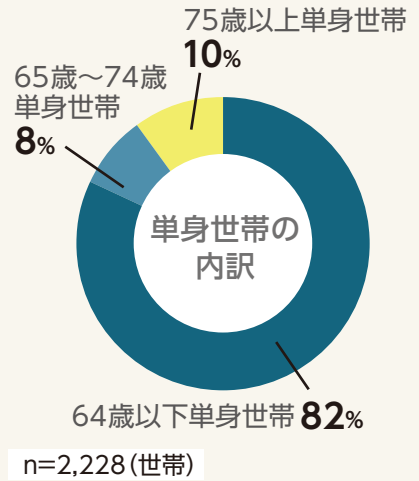
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数(世帯)	単身世帯数(世帯)	単身世帯の割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	3,267	2,124	65.0	160	211	158
H31.3	3,390	2,228	65.7	174	220	156
R2.3	3,763	2,364	62.8	199	226	173

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数

(H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	153	3.1
1年未満	550	11.2
1年以上5年未満	968	19.8
10年以上20年未満	884	18.0
20年以上	192	3.9
居住期間「不詳」	1,501	30.6

地区内の外国人数

(中区外国人数基礎調査より)

調査年	外国人数(人)	外国人比率(%)
H28.4	270	5.9
H31.4	339	6.6

データから見た関内地区

人口、世帯数とも年々増加しており、平成23年に比べ1.2倍となっています。勤労世代の人口割合が75%を占め、高齢者の割合は17.1%と区内では一番少ない地区です。

世帯構成をみると、7割が単身世帯で4人以上の世帯は5%に過ぎず、単身世帯の8割は勤労世代であり、その数は増加しています。住民の居住年数では出生時から住んでいる割合は3%と少なく、他地域から流入してきた住民がほとんどであることがわかります。

住民の多くはマンション、集合住宅に居住しており、今後も新たな集合住宅の建設により、人口、世帯数とも増加傾向が続くと思われます。

地区内の外国人数が少なく、割合は高くはありませんが、増加傾向がみられます。